支援者コース



５．グループ討論

目的：支援者としての「あるべき姿」から「やるべき事」を考え、討論で出された意見や発表内容、他社との情報交換から、自社での具体的な支援計画を考える。

５．１ グループ討論のスケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日 | 時　間 | 内　　　　　　容 |
| 1  日  目 | 11:45～12:00  (15分) | グループ討論の進め方の説明　（チーフアドバイザー） |
| 12:00～12:30  (30分) | 自己紹介・ウォーミングアップ |
| 12:30～13:20  (50分) | 昼食　休憩 |
| 13:20～13:40  (20分) | グループの旗づくり（役割分担など） |
| 13:40～17:00  (200分) | 「支援者としてあるべき姿」の統一認識と重要行動ポイントの選定  （適宜休憩） |
| 17:10～18:30  (80分) | 夕食および情報交流会（各コースごと） |
| ２  日  目 | 9:20～9:25  (5分) | 事務連絡（支援者コース全体） |
| 9:25～10:20  (55分) | 現状の姿と問題点(課題)の明確化  ※活動支援マトリックス表の作成 |
| 10:20～11:20  (60分) | 支援者として「やるべきこと（方策）」の洗い出し  ※活動支援マトリックス表の作成　（適宜休憩） |
| 11:20～12:00  (40分) | 活動支援マトリックス表の充実とまとめ |
| 12:00～12:50  (50分) | 昼食 休憩 |
| 12:50～13:20  (30分) | グループ討論のまとめと発表準備 |
| 13:20～14:40  (80分) | ＧＤ結果発表　講評（代表サークル選出）コース別なんでも相談 |
| 14:40～15:10  (30分) | 私のＱＣサークル推進計画書の作成  ※15:05～ コース別研修閉会あいさつ（会場世話人） |
| 15:10～15:20  (10分) | 会場移動 |
| 15:20～16:20  (60分) | 合同発表会　全体なんでも相談　総評 |
| 16:20～16:30  (10分) | 閉会挨拶　アンケート記入　解散 |

５．２　自己紹介・ウォーミングアップ

１日目　12:00～12:30（時間：30分）

（1）進め方

①各グループに分かれ、アドバイザーのリードで自己紹介します。

情報交換メモを参考に、業務内容、QCサークル関係や趣味等の紹介をするなど、お互いを　　知ってもらう時間にする。（3～4分/人程度）※情報交換メモは当日本人からメンバーへ配布

②「ジェスチャーゲーム」の実施手順の説明と理解（チーフアドバイザーが説明します）

③配付された備品の確認を行います。

　　　お題の書かれた紙（A4サイズ）が入った封筒が机上に配付されています。

④出題をする順番を決めて机の横に並んでください。

　　　１番目の出題者は前に出て、回答者側を向いて立ち、マスクをしている場合は外してください。

　　　回答者と十分な距離を確保してください。

⑤チーフアドバイザーの指示で全グループ同時に「ジェスチャーゲーム」を実施(5分間）します。

（２） 「ジェスチャーゲーム」の内容

①回答者と出題者に分かれて、出題者が動く「動き」や「表情」を見てそれが何を表しているのかを答えるゲームです。

②ルール

◇ゲーム時間は5分間です。

各会場のチーフアドバイザーからの合図でスタートし、終了合図で止めてください。

時間経過･残り時間（３分、２分、１分）等をお知らせします。

◇アドバイザーは出題者の横に立って、出題者（動く人）にお題を見せます。

◇出題者はそのお題を見て声を出さずに、体の動きや顔の表情で「お題」を表現します。

皆さんに顔を見てもらうためにマスクは外してください。

◇回答者はそのジェスチャー（動き）を見て、何を表現しているのかわかったら、声に出して回答します。

◇正解が出るまで回答を続けます。正解が出た場合は、アドバイザーが「正解」と声を出して伝えます。

◇正解したら出題者は次の出題者に交代します。

◇1分以上（アドバイザー補助者が計ります）正解が出ない場合は、出題者、回答者を交代　　　して次のお題を出します。

◇守らなくてはいけないこと

1. メンバーは声を出さない

2. 回答者はお題を見ない

3. 制限時間を守る（１問１分、トータル６分）

4. 出題者以外はマスクを着用する

5. 出題者と回答者は十分な距離をとる

③採点方法

◇5分の間に何問解くことが出来るかを競います。

【ジェスチャーゲーム　レイアウト】

ダイアグラム

自動的に生成された説明

５．３　グループの「旗」づくり

１日目 13:20～13:40(時間 20分)

これからのグループ活動を効果的に、かつ学びの多いグループにしていくために、全員の同意（コンセンサス）を得て、グループの ｢旗｣ づくりを行ってください。

(1) 役割分担を行う。

　　　リーダー、時間係、書記（１）、書記（２）、発表者、質問係、５Ｓ責任者など

(2) グループの決め事(指針・ルール)をつくる。

グループ討論を効果的に進めるための決め事を、具体的に行動レベル（守られているか、

否か、誰が見ても判断できること）で、３項目以上挙げる。

― 着眼点 ― ・意思決定は、どのようにするのか

・グループの運営の仕方は

・行動面での留意点は

・時間管理については など．

(3) グループのネーミングをする。

自分たちのグループの特徴を表わすユニークなグループ名を付ける。

(4) グループのシンボルマークをつくる。

会社に社章があるように、グループの特徴に合ったシンボルマークを考える。



（グループ意志決定の際の注意事項）

①結論・方向づけは原則として、全員一致で決定すること。

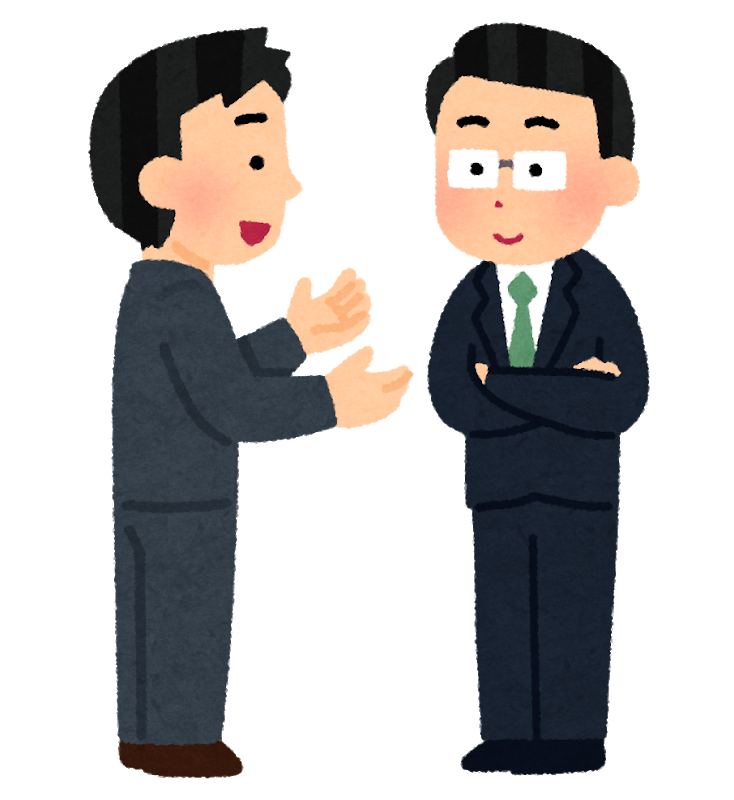
１人でも賛成できない人がいたらグループとして充分議論を尽くしてください。

②論争を避けるための理由だけで、容易な妥協をして、自分の考えを変更しては  
いけない。 何らかの納得のいく理由があれば自分の考えを変えてもよい。

③前に譲ったのだから、今度は譲れというような取り引きをしてはいけない。

④少数意見はグループにとって、決定する障害ではなく、むしろ他のメンバーの  
気づかなかった観点を教えてくれているというように、少数意見も大切に扱う。

⑤各個人の考え方、実情を十分に理解し、学ぶことに心掛けてください。

５．４　「支援者としてあるべき姿」の統一認識と重要行動ポイントの選定

１日目 13:40～17:00 (時間 200分)

（適宜休憩）

一口に「支援者」と言ってもその範囲は広く、管理者の立場、全社の支援事務局の立場、事業所や部の支援担当の立場、課単位の支援者の立場などさまざまです。

**今回のグループ討論は、推進者を直接指導する立場で議論を進めてください。**

これからグループ討論をスムーズに進めていくためには、メンバー全員で、「支援者の

あるべき姿」を再認識し、「やるべき事」を明確にする必要があります。

「支援者のあるべき姿」は、下記に示す内容が言えます。



１．ＱＣサークルが育つ土壌を作る

・関心を示す

・障害を取り除く

２．ＱＣサークルに対する方針を示す

・何を期待しているか

・進むべき方向を示す（道しるべ）

３．ＱＣサークル活動を正しく評価する

・成果金額だけに関心を示さない

・良い点をほめて育てる

(1) 各自で上記の「支援者のあるべき姿」について、招待事例発表や講話の資料を読み返して、グループ全員で、現状・あるべき姿について話し合ってください。

(2) 次に、一人ひとりの考えた「支援者のあるべき姿」を２～３分で話してください。

　　　・ぼんやりとした程度で良いので、理想のあるべき姿を描いてみる。

(3) メンバー各自の考えた「支援者のあるべき姿」を、具体的な行動形で、カード（付箋）に記入してください。

①１枚のカード（付箋）には、１つの「あるべき姿」を記入する。

　　　②全員が、考えつくものを全て書き出す。（一人何枚でもよい）

　　　③カード（付箋）は、「○○が△△である」というように主語＋述語で表現する。

④後で整理するので、カード（付箋）には必ず名前を書いておく。

(4) 書き出した「支援者のあるべき姿」のカード（付箋）を、「支援者としてのあるべき姿の抽出表」に、人別・同じようなグループに層別・整理して貼り付けます。

(5) 貼り付けたら、グループ分けが良いかを確認します。

(6) グルーピングした「あるべき姿」を１つの文章（行動ポイント）で表し、「あるべき姿

を行動形で表現する」の欄に書き出します。

例）ＱＣサークル活動の基本を正しく理解する・・と自分の行動形で表現します。

（例）支援者としてのあるべき姿の抽出表　【Ｂ紙（模造紙）で作成し発表します】



(7) グループ全員で書き出したあるべき姿について、全員で話し合い、重要度の重みづけを行い、３つを重要行動ポイントとして選定する。（選定した根拠を記入する）



５．５　現状の姿と問題点（課題）の明確化

※活動支援マトリックス表の作成

２日目 9:25～10:20(時間 55分)

(1)「活動のステップ」を縦軸に、グループで選定した３つの重要行動ポイントを横軸に記入して「活動支援マトリックス表」を作成します。

(2) 重要行動ポイントのそれぞれについて、グループ全員の「現状の姿」をカード（付箋）に記入し貼りつけます。

(3)「重要行動ポイント」に対する「現状の姿」から「問題点（課題）」をカード（付箋）に記入し、マトリックス表の「問題点（課題）」の欄にカード（付箋）を貼ります。そして、重要行動ポイントごとに２つに絞り込みます。

**※問題点（課題）は、自分自身の責任として表現する。**

　　　　　　会社が動いてくれない。推進者が言うことを聞かない。等の表現はしない。

　　　　　※絞り込んだ問題点（課題）は、分かりやすいように下線等で表示する。

活動支援マトリックス表　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　発表資料３

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 重要行動  ３ポイント  活動ステップ | １．ＡＡのＢＢを  ＣＣする。 | ２．ＪＪのＫＫを  ＬＬする。 | ３．ＭＭのＮＮを  ＯＯする。 |
| 現状の姿 |  |  |  |
|
|
| 問題点  （課題）  ２つに絞り込む。 |  |  |  |
| やるべき事  (方 策)  絞り込んだ２つの問題点ごとに１つを洗い出す |  |  |  |

５．６　支援者として「やるべきこと(方策)」の洗い出し

２日目 10:20～11:20(時間 60分)

次に、絞り込んだ問題点（２つ）について、支援者として「どんなことをしなければならないのか」を、下記の４つの角度から検討し、やるべきことを洗い出します。

① これまで自分がやってきた事柄、現在やっている事柄

② 他社の活動推進事例から学んだ事柄

③ 本研修会での「講話」の中で学んだ事柄

④ これからやろうとしている事柄、また将来にかけてやってみたい事柄

(1) 討論の進め方は、①から順次自分の意見カード（付箋）に記入し、読み合わせをしながら「活動支援マトリックス表」へ整理していきます。

(2) 読み合わせの時、分かりにくいカード（付箋）があれば相互に質問し、分かりやすい表現に書き換えたり、気づいたことがあれば、その場でどんどんカード（付箋）を追加してください。

(3) それぞれ以下の留意点に従って、実際のサークル活動を支援することを念頭に記入してください。

【カード（付箋）記入上の留意点】

● 自由に書くこと。

「誰かがもう書いているだろう」「こんなことは当たり前」

「こんなことを書いては笑われそうだ」などを考えずに記入すること。

● 誰でも判る表現で、具体的に書くこと。

● やり方についての具体的なアイディアを盛り込むこと。

● 1枚のカード（付箋）には、1つの事柄を書くこと。

５．７　活動支援マトリックス表の充実とまとめ

２日目 11:20～12:00(時間 40分)

(1) 配列を終えたら、全員でマトリックス表をチェックする。

「問題点（課題）」「やるべきこと」のステップにおいて、カードの貼り付けが極端に少ないところがあれば、もう一度本当にやるべきことはないのか、検討すること。

また、類似のカードが多くある場合には、もう一度よく検討し整理出来るものは除き、これは重要と考えるものを、目印を付けておきます。

(2) やるべきことの欄にカードを配列したら、グループとして各項目に対して一番やるべきこと（方策）をマジックで枠どりを行い、グループ名など、必要項目を記入して マトリックス表を完成させます。

　　(3) 【発表資料に清書します。】（次ページの見本参照）

最後に、二日間のグループ討議を振り返って発表資料全体をまとめます。

活動支援マトリックス表【発表資料】 グループ名　L

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 重要行動  ３ポイント  活動ステップ | １．ＡＡのＢＢを  ＣＣする。 | ２．ＪＪのＫＫを  ＬＬする。 | ３．ＭＭのＮＮを  ＯＯする。 |
| 現状の姿 | ①・・・・・・  ②・・・・・・  ③・・・・・・・  ・・・・・・・  ⑩・・・・・・・ | ①・・・・・・  ②・・・・・・  ③・・・・・・・  ・・・・・・・  ⑧・・・・・・・ | ①・・・・・・  ②・・・・・・  ③・・・・・・・  ・・・・・・・  ⑨・・・・・・・ |
|
|
| 問題点  （課題）  ２つに絞り込む。 | ①・・・・  ②・・・・  ③・・・・・  ④・・・・・・ | ①・・・・  ②・・・・  ③・・・・・  ④・・・・・・ | ①・・・・・  ②・・・・・  ③・・・・・・  ④・・・・・・ |
| やるべき事  (方 策)  絞り込んだ２つの問題点ごとに１つを洗い出す | ②・・・・・・  ④・・・・・・ | ③・・・・・・  ④・・・・・・ | ①・・・・・・  ③・・・・・・ |

５．８　グループ討論のまとめと発表準備

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２日目　12:50～13:20(時間 30分)

(1) グループ討論の「グループの決め事」と「グループ討論振り返り」を行う。

　　※グループ討論の振り返りは、発表資料４に記入する。

(2) 全員が、今後の活動の「決意表明」を考える。（発表時に全員発言する）

(3) 発表資料に記入洩れがないかを確認する。

５．９　グループ討論結果の結果発表　講評（代表サークル選出）

　２日目 13:20～14:40(時間 80分)

(1) 発表者がグループ討議の結果を発表し、全員が「決意表明」を一言発言する。

　　 発 表 ７分

　　 一言発言 ４分（全員が決意表明する）

　 　質疑応答 ３分

　　講 評 ２分（アドバイザー）

　　合 計 １６分／グループ

(2) 全グループ発表後に、会場世話人が総合講評を行います。

(3) 合同発表会　出場グループ決定

(4) コース別なんでも相談会

※時間配分はグループ数・状況により変更することがあります。

５．１０　私のＱＣサークル支援計画書の作成

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２日目　14:40～15:10(時間 30分)

(1) 各自、職場に持ち帰って、即活用できるものにする。

(2) 自分達のグループ以外のものも、じっくり観察する。

(3) 記入上の留意点

① 自分の担当する「サークル」を念頭において書く。

・レベル

・置かれた状況

・メンバー一人ひとりの顔を思いおこして

② 「今後の行動指針」

・これまで学んだことで、「共感」したり「感動」したりして

ヒントになったものを参考にする。

・あくまで自分の実感もこめて

・泥臭く

・簡潔、明快、覚えやすく

　　(4) 作成された「私のＱＣサークル支援計画書」は、本日回収いたします。

　　　　後日、各社の事務局経由で所属上司様に送付させていただきます。

５．１１　合同発表会（グループ討論結果の発表、質疑・講評）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２日目 15:20～16:20(時間 60分)

